

議 会 報 告 会 （ 牟 礼 地 区 ）

市民からの質問、要望等

（平成27年5月15日）

質 問 事 項

市長等特別職の退職金について

問：今回、否決された退職金問題は、これで決まったのでしょうか。

答：決定しました。

山頭火ふるさと館の整備について

問：山頭火ふるさと記念館を建設することは決まったのか、去年の議会報告会の説明では、今後、二転三転する可能性があるとのことでしたが。

答：土地を取得しておりますので建設は決まっています。

問：山頭火ふるさと館等で駐車場は検討中となっておりますが、相当な面積の駐車場が必要だと思います。どのくらいの規模のものをどの辺に設置するように進んでいますか。

答：駐車場は大きな問題であるので、市議会からも市執行部に意見を言っているところです。山頭火ふるさと館検討協議会では、平成29年度秋頃には開館したい方向で検討していると聞いています。

市執行部としては、山頭火ふるさと館と防府天満宮やうめてらすとの相乗効果を狙った位置に作るとのことですし、やはり駐車場がなければ失敗するとの懸念もあり、しっかりと市執行部へ伝えます。

中小企業振興基本条例の制定について

問：中小企業振興基本条例は、地方創生と防府市総合計画に連動して合わせて制定されたのですか。

答：中小企業振興については、国の地方創生関連事業の前から検討してきており、地方創生の施策に反映させていきたいと考えています。市では現在、第4次総合計画の中間見直しをしており、その中に地方創生に関する事項を入れ込んでいかなければいけませんので、中小企業振興についても反映させていかなければならないと考えています。

皆さんに関係するところで、第9条に市民の理解及び計画と書かれてありますが、例えば、市内で生産された物や加工されたものを出来るだけ消費していただき、先ほど説明のあったプレミアム商品券等を中小企業で利用されるようお願いします。

総合交通体系について

問：サイクル&ライドとは何でしょうか。

答：例えば、自転車バス停まで行き、バスに乗り換えたい場合に利用できる駐輪場です。行政が市内のスーパー等に働きかけて協力してもらっています。

問：デマンドタクシーとはどのようなもので、わかりやすい言い方はなかったのですか。カタカナで書かれると分かりづらい、乗り合いタクシー等のわかりやすい呼び方にできないのですか。

答：例えば、現在、大道切畑エリアで行われていますが、一乗車200円で前もって電話予約すれば、ご自宅に迎えに行きます。

AさんからBさんからCさんと順番に迎えに行き、大道駅に送り届けます。

交通不便地域のかたに有効利用していただくことが目的です。

呼び方については、実行されているどの市も使っていますのでそれに合わせた形になります。

庁舎建設について

問：庁舎建設の懇話会から意見報告書が出されたが、どのような意見が出されたのですか。

答：統一的な意見を出そうという懇話会ではありませんので、一般市民も専門家等も含めて賛成も反対も場所も規模もたくさんの意見が出ており、これらを叩き台にして、今から検討して行こうとの段階です。

防府市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会の委員募集しておりますので、ご意見のある方は委員になっていただき、基本構想の策定に参加していただければと思います。

問：おおよその予算は幾らぐらいなのですか。

答：現在の庁舎の面積に基づいて、必要な庁舎の面積等を積算して目安として約87億円の予算は必要ではないかという話が出ておりますが、資金調達方法を含めてまだ決まったものではありません。

市民からの意見・提言

問：昨年、周南市の学校給食で産地偽装が新聞で判明しましたが、防府市はそのような問題に対して事前調査なりをどのような形でやられていますか。周南市では業者からの摘発で分かったようですが現場では分からないのが現状で、輸入物を国産に偽装して業者が利益を受けるためにやっているかと捉えています。防府市としてはどのような対策を取っていますか。

肉屋さんは何らかの加工をして納めるわけだが、メーカーは産地や納入に関して証明書を出しますが、それまで崩されるとどうにもなりません。このような中で昨年、隣の市で偽装がまだあることが現実です。形に残る物のベストの形をとっていただきたい。

答：防府市の学校給食は地産地消に努めており、50%以上の産地の物を使っています。何%使われているかは、抜き打ちという形で行っています。

防府市は学校給食にも食育にも力を入れていきますし、議員も一年に一度給食の試食会でどういった給食が出されているか調査するよう努めていきます。ご意見を市執行部へ伝えます。

問：燃えないゴミの収集について要望を議会事務局に出したが、今、お聞きすると、こういうことを市の方はどう考えているとか、そういうことしか答えていただけていませんが、私は市議会が高齢者のゴミの問題をどう考えているとか、市がやることを見て出てきたものを議論するのか、それともどういう風に皆さんが考えて現実の物としていくのか分かりません。こんなことは市に聞けと言うなら要望も出しません。私が聞きたいのは、市議会としてどのように行政と一緒に解決していくのかが知りたいのです。

道路の水溜りの改善を写真も付けて書類にして、市の道路課に要望したが回答が無いがどうなっていますか。

市議会は回答すべきであると市執行部に求めていくと市議会は言っておられるが、一向に改善されない、質問に答えただけで継続性が感じられないのですが。

昨年、今宿自治会の遊具は撤去された質問を出したが、身近な公園にも力をいれていくように執行部に要望していきますとあるが、要望したのかしないのか分からない、どういう風に現実化するのか、ダメならダメでいいのですが、要望しても空しい。

議会が取り上げない、要望しても意味がないなら我々も要望しません。

市からの議案にだけ議論するのではなく、議員が考えたものも市議会で議論されていると考えていたがどうなっていますか。

答：基本的には議案として出されたものを議論し、必要があれば委員会で集中審議したり、議員が一般質問で取り上げたりしています。皆さんからいただいたご意見の中で、議論する必要があるものはやりますし、要望者と執行部の間で十分に話がついていないものがあれば取り上げていきます。

問：馬刀川^{マテ}について、上流は綺麗にさせていただいたが、ところが海側、鉄道下の川が狭くなり水が止まり逆流します。なぜ、JRの周りにはできないのですか。

どういう形で計画を出しているのですか。

答：御指摘の馬刀川は、2級河川のため県の管理になっておりますので、御要望及び御質問につきましては、山口県防府土木建築事務所までお願いします。

問：議会報告会を各地区の公民館で開催されていますが、私は初めて出席したが、報告が長く分かりづらい、読んでいるだけなら見れば分かります。もっと明朗簡潔にして、報告を短く意見交換の時間を長く取れるようにシフトしてほしい。

若い人の参加が殆ど見られないが、事前の告知活動も考えてはどうですか。

今のやり方では、言っているだけ、聞いているだけで、我々が問題点を出しても反映される気がしません。

市役所の会議を初めて傍聴させていただいて、良い意見がいっぱい出ていました。議会報告会も、もっと意見が出るように頑張ってください。

答：議会改革推進協議会において、議会報告会のあり方について、皆さんの意見をいかに反映するか、どうすれば議員の活動を明確にできるか等、ずっと議論しています。先日も、「あらかじめ、テーマを決めて議論してみないか、そういう提案のしかたもあるのでは。」という話し合いも行われたところです。皆さんが出した意見が反映されていないのことも含めて有意義なものになるよう努力していきたいと考えています。

問：大河ドラマ館に力を入れていて、今年スタートの観光防府との形でごかれています。ドラマが終わった後、来年の観光についてはこれに勝る新しい何かを打ち出しているのですか。

ドラマを取っ掛かりとして、どうしていくかが答えだと思いますが、更に来年はもっと頑張りますよと言うのであれば観光に力を入れているなと思えるがどうでしょうか。

答：「花燃ゆ」は、一つの起爆剤で、市執行部も試行錯誤しながら一生懸命取り組んでいます。結果としては周遊バスの乗客が少ないとか、ドラマ館の来館者数が少ないと言われていますが、もっとPRしなければいけないというのは議員も承知しています。防府市をどう他県他市にPRしていけるかは、皆さん方と我々の課題であり、ダメだというのは簡単ですが、いかに盛り上げていくかをみなさんと一緒に考えていくことが重要となりますので、今後ともお力添えをよろしくお願いします。

議 会 報 告 会 （ 華 浦 地 区 ）

市民からの質問、要望等

（平成27年5月18日）

質 問 事 項

山頭火ふるさと館の整備について

問：施設の内容はどのようになりますか。

答：天満宮近くの兄部家の隣に建設することは決まっていますが、中身について詳しいことはまだ検討中です。

問：展示館なのですか。

答：展示だけではなく学習館及び観光の拠点として、他の観光施設と結び付けていく予定です。

（要望）山頭火ふるさと館建設が予算に対して効果がどうなりますか、金額、人材育成、教育等具体的に示して欲しい。そうすることによって市民がわかりやすく理解できるようになります。

市長等特別職の退職金について

問：報酬等審議会は何回開催され審議されたのですか。

答：2回開催されました。

地方創生と防府市総合計画の見直しについて

問：「防府市人口ビジョン」とはどのようなものですか。

答：本市における人口の現状を分析し、市民と人口問題についての認識を共有するとともに、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を提示するためのものです。

（意見）人口が減っていくことは仕方ないが、人口を増やすために空家対策の問題を、これからの計画に入れて欲しい。

市民からの意見・提言

問：華浦小学校の養心館にカビが生えており、中の文化財は、防府市に美術館も博物館もないので、市の文化財郷土資料館に保管しています。文化財がどんな価値があるのかも含めて、適切な管理をお願いしたいがどうですか。

答：越氏塾の資料に関しては、7月4日・5日に専門業者に委託してカビの燻蒸を行い、現在文化財郷土資料館内に保管してあります。資料については華浦小学校の所有であり、今後返却する予定です。

今後は学校側と協力して、資料の保管・管理に細心の注意を図り、伝統ある資料を後世に伝えていきたいと考えております。

問：道路や側溝等の整備を市に要望しますが、議会の承認がないからできないと言われてます。市から議会にそのような相談がありますか。また、住民の要望はどうなっていますか。

答：地区の細かな整備の要望について、議会には相談はありません。1年間の全体の予算については議会で審議して、議決されると執行されます。その年度に組み込めない予算は次年度にまわされることはあります。予算があれば地区の要望に対応しているはずですが、また、議会には予算の執行権がありません。

議 会 報 告 会 (佐 波 地 区)

市民からの質問、要望等

(平成27年5月20日)

質 問 事 項

山頭火ふるさと館整備について

問： 宮市まちなみ遺跡として指定された範囲はどこまでですか。

答： 防府天満宮から山口銀行宮市支店付近までです。

地方創生と防府市総合計画の見直しについて

問： 以前も「地域振興券」というものがあったが、それにはプレミアムがついていなかったのですか。また、地域でどのような効果があったのか等の説明はありましたか。

答： 以前の商品券にもプレミアムが付いていました。その時も希望者が多く、抽選で交換されています。商品券は防府市内で使われていますので、かなりの効果があったと聞いております。

総合交通体系について

問： 離島航路ではどのような検討をされましたか。三田尻港から尾道まで観光するという企画もあったと思いますが。

答： 離島航路の現状と取組では、野島在住者が離島航路を利用する際の旅客運賃の一部を助成する制度として防府市 離島航路 利用券の交付を行っております。審議をした特別委員会では、「野島航路の利用券は年間24枚としているが、乗船率が低いようなら、もっと利用券を増す方法もあるのでは」との質疑もありました。野島から尾道まで観光するという企画は、毎年1回行われる定期検査でドック入りにあたり、これまで三田尻から尾道市の造船所まで空船で運航していたものをクルーズ船として観光に活用するというものです。離島航路については、今後、要望も含め審議していきます。

庁舎建設について

問： 庁舎の建て替えについてですが、場所等はわかりますか。

答： まだ決まっていません。建て替え場所も含めて協議中です。

排水対策について

問： 雨水補助の件ですが、見積もりを出してのことですか。 工事が終わった後の申請ではいけませんか。

答： 申し込み用紙がありますので、事前に申請書を担当課へ提出してからになります。

市民からの意見・提言

問：市議会への傍聴の件ですが、身分証明書を見せれば傍聴できますか。

答：事務局で受付簿に氏名等、記入するだけです。

問：教育のまち日本一で教育に力を入れていこうということは賛成できるが、教科書の採択の中身についてまで、独自性を出さないように議会として監視していただきたい。また、教育委員会が教科書の採択を行うと思うが、子どもにとって教科書は、育つ段階での重要な中身になると思うので、公正・公平な採択をお願いしたい。是非、採択過程の議事録も公開していただくように検討していただきたいし、議会としても働きかけていただきたい。

答：教育のまち日本一については、学力を日本一にしようということではなくて、教育の姿勢を日本一にしたいということです。これも子ども達や親だけではなく、地域も巻き込んで、教育に取り組んでいこうということを推奨しています。防府は、いち早くコミュニティスクールを全校に立ち上げ、地域の皆さんも学校に注目していただいて学校を中心に地域づくりをしていこうという目的もあります。地域の皆様へも学校からの要望や協力をお願いもあるかもしれませんが、ご協力のほど宜しくお願い致します。

質 問 事 項

山頭火ふるさと館整備について

問：山頭火ふるさと館は何故設計変更になったのですか。

答：最初の設計の段階で、文化庁から、隣に兄部家が建設された時、その兄部家より山頭火ふるさと館が2階建の為、建物の高さが非常に高くなるのは如何なものかという意見があり、そのため変更になりました。

問：設計費もかかるが、それは最初にわからなかったのですか。

答：2階建の山頭火ふるさと館の設計が示された後、文化庁から意見があったので当初はわかりませんでした。

問：山頭火ふるさと館の駐車場は後回しになっているようですが、駐車場は確保できますか。

答：現在の建物の敷地には駐車場はなく議員からも駐車場はどうするのかという質問も多く出ています。執行部の意見では、近隣の空き地を賃借するか、又は購入する計画があると言っています。協議会の議員からは、駐車場の見込みを早く示すよう執行部に申し入れているところです。

問：防府市の観光地駐車場は全般にその位置が分かりにくい、わかりやすい表示をするべきだ。

答：執行部にその旨伝えます。

地方創生について

問：プレミアム商品券は防府市内のすべてのお店で使用できますか。

答：商品券が使用できない店もあるようです。詳しくは6月1日号の市広報でご確認ください。

総合交通体系について

問：生活交通での大型バスは利用者が少ない。バスの小型化や便数を減らす等すべきではないでしょうか。

答：高齢化が進む中、新たにバスを必要とする人もいます。バスの小型化も必要ですが、地域の要望に沿ったデマンドタクシーの運行を実施する運びとなりました、ご意見を参考にさせていただきます。

排水対策について

問：（意見）雨水浸透ます等の市の説明会を予定しているが、効果がありますか、利用者があるか疑問です。

答：昨年度は、地域を限定して利用が少なかったため、今年度は全市に適用範囲を拡げました。今後よく検証していきます。

市民からの意見・提言

問：剣川の水路や土手の管理道などの管理は地元ですよう聞いているが、条例で定めているのですか。

答：御指摘の剣川は、1級河川で県の管理となっておりますことから、山口県防府土木建築事務所にお尋ねいただきますようお願いいたします。

問：花燃ゆ周遊バスは採算が取れていますか。見直しが必要と考えますが。

答：全国各地で同様の催しをしているが、採算というよりも地域経済への波及効果を期待しています。市民全員で盛り上げていきたいと考えていますのでご協力をお願いします。

問：ソレーネ周南に行ったが、防府市に道の駅はないのですか。

答：潮彩市場が本年4月15日に道の駅に登録されました。

問：海のそばに施設があるから、指定を受けたというのでは失敗します。右田にはトラックステーションもありますが、国道2号線沿いにつくらず、幹線道路から遠い所につくるのは理解できません。

答：ご意見、参考にさせていただきます。

問：自由ヶ丘地区は土砂災害警戒区域と、土砂災害特別警戒区域の指定を受けた後、警戒区域内に2ヶ所あった指定避難場所も廃止された。新たな避難場所指定を市長に申し入れています。進捗状況を知りたい。多くの住人がいるのでスピード感をもった対応をお願いします。

答：執行部に伝えます。

問：本会議をインターネット中継していますが、委員会も中継してもらいたい。それと議会への提言箱をつくってもらいたい。

答：議会改革推進協議会に伝えます。

問：自分の土地が農業振興地域であるため、4mの農道に面しているのに家が建てられない。

答：執行部に確認します。

議 会 報 告 会 （ 勝 間 地 区 ）

市民からの質問、要望等

（平成27年5月15日）

質 問 事 項

市長等特別職の退職金について

問：市長退職金について賛成少数で否決されたことは市民感覚に近い議会であると思います。ただ市長の報酬審の意見を尊重すべしとのコメントに対して議会としてどのように考えますか。

答：地方自治法の精神を尊重していないと言われる人もいますが、議会としてはそうは思っていません。

市民からの意見・提言

問：花燃ゆバスの利用者が少ないみたいですが、この際費用対効果を考え廃止し、タクシーに切り替えた方がよいではありませんか。

答：花燃ゆ周遊バスは、大河ドラマ館の開館中（平成27年1月11日から平成28年1月11日まで）、御来防される方の市内周遊の手段、おもてなしの一環として運行することとしたもので、10月末現在で延べ21,967人の御利用をいただいております。

御指摘のとおり曜日や天候、運行時間帯などによっては乗客が少ない便、あるいは乗客の無い区間もありますが、ねんりんピックの選手の皆さんなど、利用された方からは大変な好評を頂いており、また、こうしたサービスを今の時点で変更しますと、告知が行き届かないことでの混乱と来防される方へのサービス低下をもたらしますので、ドラマ館が開館する来年1月11日までは、周遊サービスとして維持、継続することとしています。

問：葬祭業者が遺体搬送業務だけでもするよう、担当課でもっと詳しく説明をして欲しい。民間業者と連携をとり、低所得者への支援をして欲しいと考えるがどうか。

答：平成25年度から市葬儀所での遺体搬送業務を廃止した後も、市内各葬祭業者に対し継続し葬儀業務についての聞き取り調査を行っており、ほとんどの葬祭業者からは遺体搬送業務のみでも引き受けるとの回答を得ております。

また、民間業者と連携し低所得者への支援をしてほしいとの御要望につきましては、市内の葬祭業者は6社あり、それぞれが多様な葬祭サービスに取り組んでおられることから困難であると考えております。

なお、低所得者に対しては、社会福祉協議会の貸付制度もありますので、御相談をいただいた場合には紹介する等の対応を行ってまいります。

問：鋳物師児童公園のトイレの清掃については、業者に委託しているというがもっと回数を増やすなどの管理したらどうですか。

答：鋳物師公園は、近隣の住民の方に気軽に御利用いただく身近な公園として、規模等により「街区公園」に分類される公園です。

このような街区公園は、市全体で31箇所、勝間地区に5箇所設置していますが、トイレの清掃については、市内の同類の公園全てを週一回の間隔で業者に委託しています。

市としましては、街区公園の規模や利用者数、また、管理経費や効果を考えますと、週一回の清掃が適切であると考えておりますので御理解をお願いします。

問：お船倉のへドロの除去、文化庁の指導により深く掘れないとのことだが、何か良い方法はないか。

答：三田尻御舟倉跡のへドロに関しては、山口県教育委員会と協議し、平成26年12月に遺構を傷めないことを前提に0.3mほど浚渫を実施いたしました。

三田尻御舟倉跡については、周辺部が宅地化され、地形的な制約から水の循環が困難な状況であります。そのため、数年に一度程度の定期的な浚渫が必要と考えております。

問：鐘紡町の市道沿いの水路内の草刈りを年1回ではなく、すぐ繁茂するので増やせないのですか。

答：鐘紡町の水路は、幹線道路が隣接しており、地元自治会による作業は危険が伴うため、市が年1回の除草を実施しておりますが、除草回数を増やすことは、難しいと考えております。

問：赤間工業横側の蓋の取り付けをお願いしたい。

答：当該箇所は、路肩幅員が確保されており、カラー舗装化を実施していることから、側溝の整備計画はございませんが、路肩の破損等危険な状況が生じた場合は、速やかに補修対応いたします。

問：防府市都市計画道路 番号13路線番号3-4-13 牟礼中関線の早期着手してほしい。

答：文化財（船所・浜の宮）の区域上に道路が計画されており、現在も発掘中で、中長期的な検討がされています。

問：高齢者の孤独死を防ぐために、「緊急通報装置と人感センサー」の併用方式の採用をお願いします。

答：孤独死を防止するため、新聞販売店・郵便局などに、不審な場合通報をお願いしています。ご提案の「緊急通報装置と人感センサー」の併用式の採用については、効果があると考えているので、前向きに現在検討しています。

問：平和自工交差点から勝間1・2丁目までの生活道路側溝」の蓋付下水路への改善をお願いします。

答：今年度、該当箇所の水路改善のため、測量設計の業務委託を発注予定しています。

問：新築地道路電柱への外灯設置をお願いします。

答：現状としては困難です。環状1号線完全開通後、車の交通量が2万5千台以上となれば、公安灯設置が可能となります。

問：イオンタウン防府横のカレー店（ココ一番）～鐘紡町交差点の先までの側溝へ柵を作ってほしい。

答：最低歩道幅2mを確保できないため、柵の設置は困難です。

問：廃屋同然の空家が起こす災害等不安です。行政代執行条例の制定をしてほしい。

答：国の動向を注視しながら検討します。国の空家に関する法律に基づき、今年度、全市的な空家の実態調査を行い、代執行も視野に入れしっかりとした計画を作ります。

問：モデル児童公園の無断駐車が多いので、取締りをしてほしい。

答：無断駐車を誰がやっているか特定できれば指導できますが、現在把握できていないので再調査をします。皆さんにも情報の提供をお願いします。（都市計画課まで）

問：三田尻第2児童公園公園灯について、3箇所のLED化をお願いします。

答：定額契約しているので、電気料金自体は安価であるが、LEDを使用することは地球環境などに有効であるので、公園灯更新時に検討します。

問：入間川の江川にかかっている「福勝橋」前後の凸凹の整備をしてほしい。

答：すでに実施しています。

問：入間川湾内堆積土浚渫について、浚渫をお願いします。

答：県管理であるため、防府土木建築事務所に市より要請します。

問：防府市パーキングの整備・美化について、自転車の放置・ごみ散乱の対処をお願いします。

答：海岸保全区域上に放置されているため、「防府市放置自転車の発生防止及び適正な処理に関する条例」に基づいて処理できず、管理者の県と対応を協議します。

問：持続可能な社会の構築について

答：自治会組織の存続については、自治会連合会の改革委員会で自治会長の処遇改善など検討され、市議会の正副議長・委員長と自治会連合改革委員会との懇談会も実施し、市議会も後押ししています。まさに国が進めている地方創生総合戦略の中で、結婚（出会いの場）、出産、子育て、雇用、人口定住について、市民の委員会や議会のまちづくり委員会で現在も議論し、5ヵ年に及ぶ計画を策定しますのでご意見があればお寄せください。

問：鋳物師公園の清掃について、自治会長または役員の立会いを望みます。

答：公園の清掃は子ども会が実施されているので、地域で協議をお願いします。

問：鐘紡町の市道沿いの歩道が狭いため、水路の蓋をしていただきたい。

答：通行帯が広く確保できていますので、蓋の設置は考えていませんが、側溝の石積みが壊れた場合はすぐに対応しました。今後もそのように努めます。

問：東車塚地区内の水路整備について、石積みの老朽化、陥没があるので改修をお願いします。

答：ご指摘の箇所の水路整備は、本年度の秋以降に実施します。

問：町名標識の交換もしくは整備をしてほしい。市役所前～駅南～警固町の標識が、さびがひどくて見苦しい。

答：近いうちに調査をし、明らかにさびて見苦しいものは交換します。交換が行き届いていないものについては、市民課にお問い合わせください。

問：道路上の暗渠蓋の騒音を防止してほしい。用水路9箇所にあるグレーチング蓋が車通過時騒音を発生させています。

答：すでに実施済みです。

問：横断歩道の新設をしてほしい。萩往還の表示はあるが、横断歩道ともいえない表示があります。

答：県警と協議した結果、横断歩道設置は困難です。

問：平和自工交差点自歩道工事での空きスペースにスポットパークを設置してほしい。

答：排水工事实施中のため、資材置き場として使用しており、自歩道整備とあわせて工事終了後検討します。

問：高架下停止車線変更をお願いします。

答：市から県警に要請しています。

議 会 報 告 会 （ 大 道 地 区 ）

市民からの質問、要望等

（平成27年5月19日）

質 問 事 項

庁舎建設について

問：庁舎建設の話があるが駅北に建てた時、駐車場用地は確保できるのか。現在建築されようとしている山頭火ふるさと館にも駐車場用地が確保されていない。如何か。

答：現庁舎敷地は約30,000㎡です。駅前（北）は約8,000㎡で、実施するとなれば縦に伸ばすしかないが、あくまで仮想位置設置です。山頭火ふるさと館について別途執行部は考えると言っています。

市民からの意見・提言

問：大地震や冠水のことを議会で協議したことがありますか。
現在地の海拔表示や避難方向など誰にでも判るような所に表示したらどうですか。

答：東日本大震災を受けて、沿岸部の皆様に日頃から海拔を把握し、津波や高潮の際の避難行動に役立てていただくために、平成24年から市が指定する避難所や避難場所に海拔を表示しております。

現在では、学校や公民館などの公共施設、180施設（看板数199箇所）で表示しております。

今後、海拔表示については、自治会館等を対象に整備を進めることとしております。

なお、避難方向の表示については、津波避難誘導標識の整備において検討いたします。

問：海拔表示は満水位からですか、基準はどの位置に置いていますか。

答：東京湾の平均海面が基準となります。

問：大道切畑地区にデマンドタクシーが導入されました。小俣温泉ホーム等にバス停がありますが、切畑の住民しか利用できないのですか。

答：そうです。切畑デマンドタクシーについては、平成27年4月から運行を開始しています。

問：雨水排水対策の説明で、「市は基準降水量の見直し」と言うことばが使われたが、どのように見直されたのか。

答：国におきましては、昨今のゲリラ豪雨による想定を超える浸水被害が多発していることから、平成27年5月に水防法等の一部を改正いたしました。

この法律に基づいて、日本を降雨特性が類似する15の地域に分け、「想定し得る最大規模の降雨量を設定する作業」を国が進めております。

この設定結果が終了した後に、新たな洪水ハザードマップの作成、内水ハザードマップを作成し、お示しする予定でございます。

また、本市の公共下水道計画では「10年確立降雨」として、1時間に55mmの雨を想定し、雨水排水整備を進めておりますが、この「10年確立降雨量」につきましては、水防法の改正に伴い変わるものではございませんので、併せてお知らせいたします。

問：大道地区の公共下水道計画はどうなっているのか。

答：都市計画区域については、平成31年度までに行う予定です。

問：これから50年以内に大地震等が来ると言われ、瀬戸内も3～5mの津波が来ると想定されています。地元民は地形が判るが外部の人は判らないので、多くの人々に知らせる為の海拔表示をより多く不動の物で造るべきと思うので、作業には引退測量士等を活用したら如何か。ハザードマップ等では役に立たない。（要望する）

答：要望として受け止めます。

問：愛媛県伊方原発を再稼働して、万が一事故が起き、風向き等を考えた時のことを市議会の方で話し合ったことはないか。議会の方で何かアクションを起こしてほしい。

答：種々要件等もあり、意見書の方法もありますが当面ありません。

問：開作自治会館附近の土手が崩れつつある。また会館周辺の土管が詰まって水が溜る。U字溝に改善する方法も検討したが、地区では無理です。何か良い方法はありますか。更に周辺道路の陥没や舗装崩れもあり、善処方を要望します。

答：開作会館周辺の道路側溝や管渠について現地調査を行いました。水の溜まる状況が確認出来ませんでしたので、水の溜まっている状況を自治会から連絡をいただき調査を行いたいと思います。

また、周辺道路の陥没や舗装の崩れについては、平成27年6月10日に要望書が提出されている市道柴山真鍋開作線の整備と思われます。

要望書が提出されて6月24日に現地調査を行い、路肩石積が空積であり隙間が開いているのを確認いたしました。舗装端より路肩が2m程度ございますので、直ちに市道に影響は出ないと思われます。

現在の状況では、延長も長く改修すれば多大な費用も掛かることから優先順位は低くなります。

なお、補修等を行いますので連絡をお願いします。

問：今もらった平成26年（前年）の回答は一年前の回答で古い。決定（実施）されたものは何もない。大道地区に出向くなら、大道のことをどうしようとしているのか、どうして行きたいのか。結論をはっきり出してきてほしい。

答：市全体の中でなかなか難しい。要望と受け止め、今後協議していきます。

問：デマンドタクシーは最初から利用者が無い見込みで始めているのではないか。そうならないように永い目で見て続けてもらいたい。

答：その通りに受け止めていきます。

問：林自治会は土砂災害特別警戒区域に入っています。いざとなったら逃げるしかない。現状のまま放置していいのか、何か手段を講じてほしい。

答：全市的な問題ととらえていきたい。市議会も問題点として考えています。

問：合併浄化槽を設置しているが管理料とは別途に年一回5,500円の浄化槽水質検査料請求が来る。これはどう言うことか。

答：浄化槽法により山口県知事の指定する検査機関「(一社)山口県浄化槽協会」が年1回検査を実施します。

問：防府駅前広場西側にある山頭火像が樹木で隠れており、改善の依頼があった。

答：市執行部に伝えます。

問：本日いただいた執行部の回答等、回答が軽く甘い。執行部の部署と氏名を入れるよう要望します。

答：市執行部の課名は入れてあり、議会の回答分は入れていません。

議 会 報 告 会 （ 小 野 地 区 ）

市民からの質問、要望等

（平成27年5月21日）

質 問 事 項

山頭火ふるさと館の整備について

問：教育のまち日本一というが、山頭火の句を子供たちに教えるべきではないか。山口市は、中原中也の詩を国語の副読本として中学生に配っている。

答：ご提案として承り、市執行部へ伝えます。

総合交通体系について

問：山口市のようなワンコインバスをなぜ防府は取り入れられないか。大きなバスを空で走らせるのではなくて、小さくても良いから利用者がいるところを走らせてほしい。アンケートをとるなりして、しっかり見通しを立てて、やる価値があると判断したらやりぬくという構えでやってほしい。利用者と関係者が密に意見交換して、何年間か投資してやってみないといけない。久兼だって、デマンドじゃあだめだと思う。本当は本線につながるような形でやってもらわないといけないがどうでしょうか。

答：山口市のワンコインバスについては、市営バス事業の廃止を契機として、行政主体で導入されたコミュニティバスであるとお聞きしております。

本市においては、JR防府駅を中心として市のほぼ全域を網羅する路線バスが民間事業者により運行されており、「第二次防府市生活交通活性化計画」に基づき、この生活交通の幹となるバス路線の利便性の向上について取り組んでいるところです。

加えて、市周辺部の交通不便地域等では、コミュニティバスや乗合タクシーなどの幹線を補完する新たな交通サービスの導入に向けた取組を進めていくこととしており、本年4月1日から大道の切畑地区において、デマンド型乗合タクシーの実証運行を開始いたしました。

今後も、地域の皆様の御意見や、地域の状況などを踏まえた対策の検討を進めるとともに、本市における生活交通のあり方について、高齢化の進行に対応した需要予測など、福祉的視点を大切に、生活交通サービスの充実に向けた施策を推進してまいります。

総合計画の見直しについて

問：総合計画の見直しについて。10年後、あるいは20年後30年後の防府市をどのように描いているのでしょうか。そのようなビジョンがないと若い者は定着しません。

答：今年は第4次総合計画の中間年で見直しの時期になっています。おりしもこの時に国が「まち・ひと・しごと創生事業」の計画立案を自治体に求めてきました。

これまでの総合計画はどうしても総花的になりがちで、10年後、20年後、30年後の防府市の明確なビジョン、イメージが描きにくかった。しかし、ここに来て人口問題が深刻になり、それにともなって、空き家問題、住宅問題など多くの具体的課題の解決を迫られるようになってきました。行政も議会も、これからそれらの課題に取り組もうとしているところです。

市民からの意見・提言

問：人口減少問題と空家問題について。8年前と比べて、防府市の人口は横ばいだが、小野地区は560人減となっている。とくに、小野地区は高校を出た20代、30代前半の減少率が45%を超えている。働くところがないから、都会に出て、帰ってこない。当然、空家も増えるし、耕作放棄地も増える。したがって、中小企業大企業も含めて企業誘致をすすめれば、若い人の流出を防ぐことができる。

鈴屋でも、空き家は20軒をはるかに超えている。空家バンクに登録しようとしても市の条件は非常に厳しい。賃貸でないと空家バンクに登録できない。この点を改善すれば、よそから移住してきて農業をやりたいなどという人にホームページ等を通じて広報できるようになると考えます。

これらの面で、ひとつの良い例が石川県の川北町があります。人口を増やすにはまず福祉から、を原点に長期ビジョンを立てている。たとえば、女性が生活しやすいように、まず保育料の所得制限を撤廃、高校生までの医療費を無料に…等々。同町は人口が増えている。

答：空家に関しては、平成26年の11月に国が空家対策に関する特別措置法を制定し、従来の市条例ではネックになっていた強制代執行を含めた対策が可能になる見通しです。今年から国の調査費がついて空き家に関する実態調査を開始し、空家バンクを含めもう一度対策を抜本的に見直すようになります。

企業誘致に関しては、JT跡地の活用など徐々に良い方向になりつつあり、地方創成の流れの中で6次産業を含めた市の総合戦略を今年度中につくっていき、小野地区の振興策もそのなかで考えていきたい。

岡山県真庭市のように、地域にある宝を活用する方法を見つけ出して、地場産業の振興を土台に小野地域の振興を図ることを考えていきたい。

問：いま、防府の企業がみな山口市に行っているのではないのでしょうか。NTT、中国電力、土木事務所なども山口に移っていますが、新山口駅ができるなどして山口の景気が良いからなのではないのでしょうか。

答：土木事務所は逆に防府市に移っています。

国・県の行政改革の一環で、役所の統廃合がおこなわれ、民間企業も経営改革の結果でもあります。

議 会 報 告 会 (中 関 地 区)

市民からの質問、要望等

(平成27年5月22日)

質 問 事 項

市議会の仕組みと役割について

問：常任委員会を傍聴していると、専門の委員会なのに自分の意見を出さない、発言しない議員がいる。委員長から議員に発言を促してほしい。もっと市民の声を聞く議会であってほしい。

答：議会報告会も5年目を迎えこうしていい意見を出していただき以前より多くの市民の意見をいただけるようになってきていると思います。議会改革をしてきた結果、全国でも10位から20位以内に、県内では群を抜いています。

総合交通体系調査特別委員会について

問：バス利用者が少ないのは、運賃が高いからだ。例えば、一人500円も5人100円も一緒ではないか。赤字補填をしている防府市からバス事業者に対し運賃ワンコインで実施するよう提案、進言をしてみてもどうか。

答：議会へ伝え、委員会等で協議してまいります。

庁舎建設について

問：庁舎建設と組織機能の効率化、意識改革等同時並行して欲しいが。

答：市は平成30年の人口は、現在の人口を維持できないと言っています。市勢に見合った庁舎、コンパクトな庁舎を考えていく必要があります。部署もスクラップ&ビルドが必要となり、現在では想定されない部、課の出来る可能性もあると考えられます。

排水対策について

問：下水道の普及率について教えてほしい。施設や、アパートなど下水道につないでいないので近隣住宅は苦勞している。個人への補助金は出来ないのか。花壇、畑に水が必要だが川が深いので困難です。自費で設置している人もいますので雨水貯留浸透施設助成の宣伝を徹底してほしい。

答：旧市街地は、ほとんど完了しています。区域内において平成31年度までに敷設完了としています。下水道本管から宅地内配管工事について補助金はありませんが、利子補給制度があります。貯留浸透枳助成制度の宣伝については市執行部に伝えます。

問：雨水貯留浸透施設について必要性は理解できるが、中関地域は必要ないのではないのか。施設設置についての説明要請を受けているが、自治会長会議実施後に返答したい。下水道敷設で、川、用水路がきれいになってきている。

答：市執行部へ伝えます。

市民からの意見・提言

問：三田尻塩田公園についてですが、塩田公園に英雲荘北側の海洋民族収蔵庫を移設する計画はどうなっているのか。測量は済んでいるのにそのままになっているが。塩田公園にシャトルバスを回せないでしょうか。

答：新収蔵庫については、平成27年度中に実施設計を行い、平成28年度に塩田記念産業公園内で建築工事に入る予定です。

平成29年度は環境確認期間を取り、平成30年度、英雲荘内の海洋民俗資料収蔵庫から資料を移設し、旧収蔵庫を解体する予定です。

次に、塩田公園にアクセスできるバスは、JR防府駅から東海カーボン方面の1系統で1日1往復のみであるため、別仕立ての車両の運行という考え方も出てくると思いますが、費用対効果に疑問があり、また、花燃ゆ周遊バスの延伸についても運行ダイヤの関係上困難です。

問：道路沿線の環境整備についてですが、地元有志が路側帯に花を植えているが、雑草が多い。清掃のための助成金はあるのでしょうか。

答：御指摘の箇所は県道とされますので、山口県防府土木建築事務所へお問い合わせください。

問：県営住宅、市営住宅の集会所の利活用についてですが、利活用されていない集会所が多い。利用しやすい手立てはなでしょうか。

答：自治会長、市営住宅の管理人に相談し、了解をいただき進めてはどうですか。

問：中小企業対策についてですが、防府市に立地したいと考えている全国チェーンの企業があるが土地がない。駅北開発をしてきたが、天神アーケードの西側の空き地がひどい。街なかの主要道路の整備を進めて街なかから元気になってほしい。

答：市執行部へ伝えます。

議 会 報 告 会 (富 海 地 区)

市民からの質問、要望等

(平成27年5月14日)

質 問 事 項

山頭火ふるさと館の整備について

問：山頭火ふるさと館は、建築物の高さが高いということで文化庁から意見があったようですが、その後どうなったのですか。

答：隣接する兄部家と同じ程度の高さとし、2階建てにはしないで、周辺の景観に合った形で基本設計を作っています。

総合交通体系について

問：切畑デマンドタクシーは大道駅までの運行ですが、高齢者は、重い荷物を抱えての大道駅での昇降は負担が大きいと思います。富海は店舗が1軒だけになり、買い物難民と言う問題もあります。私は、国交省と協議して、3、4年前自家用有償運送、福祉有償運送で、お客を自宅から目的地までの運送をしていました。今後、高齢者を目的地まで運送する方向へ向けていくべきだと思います。下関市、上関町ではやっています。

答：大道駅では、改札口からホームへ下りたり、上がったりにするのに階段しかなく、高齢者の方からエレベーター設置の要望もあり、その声を議会で議員が取り上げており、市執行部もJRに何度も要望していると聞いています。

デマンドタクシーの運行に関しては、目的地まで行けることが一番良いわけで、これに関しても議会で再三意見が出ておりますが、事業者との連携の中で、目的地までということが叶わない状況です。

大道切畑地区を実証実験として進め、今後、様々な交通不便地域でどのような方法が良いのか、今後、地域に応じた生活交通の体系へと整えていきたいと市執行部から聞いています。

議会としても、高齢者の方々が、お出かけしやすい体制を作っていくことが必要と考えています。貴重なご意見ですので、市執行部へ伝えます。

市民からの意見・提言

問：富海に下水道が来るのはいつ頃になるのでしょうか。

答：平成26年度から工事に着手しており、現在計画的に進めています。計画区域の工事完了の見込みですが、今後、十数年はかかるのではないかと聞いております。あくまでも予定という事をご了承下さい。

問：富海地区の小・中一貫教育について、地区外から小学1年生2名(佐波、牟礼)、中学1年生6名(大道、小野各1、他の4名は電車通学3、バス通学1)が新たに入校されましたが、保護者の送迎が必要であったり、バスの便数が少ないなど、通学に大変苦慮している状況です。来年の入学状況をみて、バスでの送迎ができないか、検討をお願いします。

答：貴重なご意見であり、市執行部へ伝えます。

問：富海保育所の入所条件として、夫婦共働きで世話をする人がいない家庭が対象となっており、対象外の子どもは牟礼・右田地区の私立幼稚園へ行っています。(地区内に幼稚園はなく、)富海保育所への入所の条件緩和は出来ないのでしょうか。検討をお願いします。

答：保育所は、児童福祉法に定められた施設で、保護者の就労、出産、病気等により日中家庭において十分保育することができない児童を家庭の保護者にかわって保育することを目的としており、保育所に入所するためには、これらの要件に該当することが必要です。

富海地区に在住しているものの、保育所の入所要件に該当しないため他地区の幼稚園に通所されている児童を富海保育所に入所できるようにするためには、富海保育所を幼稚園機能を併設した認定こども園にすることが必要となりますので、今後、課題として研究してまいりたいと考えています。

問：富海保育所は、昭和52年建築で築後40年経過しています。将来は、小学校には空き教室があり、耐震化も済んでいますので、小学校への移転は出来ないのか、検討をお願いします。

答：富海保育所は築38年が経過し、老朽化が進んでいるのが現状です。保育所と基本構造が異なる小学校の空き教室を利用するためには、学校や地域、保護者と移設についての協議が必要となることはもとより、法に定められた児童一人当たりの面積を確保することや、幼児用のトイレ、給食調理室の新設等、大規模な施設改修が必要となってきます。

また、保育所では午睡の時間があり、小学校の授業との関係で静寂な環境を確保できるかなどの問題点も解決する必要がありますので、今後、富海保育所の改築が必要となった折に、小学校校舎内に移設した場合と改築した場合の費用を比較するとともに、児童への影響等も考慮しながら検討したいと考えます。

問：国道2号拡幅の際に、国会議員と市長に陳情したが、陳情を無視されている。どういふことで無視されたのか、返事を聞きたい。

答：そのことを伝えます。

問：富海の林道で、破れた林道工事に6千万円ほど工事代金を払っている。数人の議員にも伝えたが、市民の金の使い方の監視をしてほしい。

答：そのことをお伝えします。

議 会 報 告 会 （ 新 田 地 区 ）

市民からの質問、要望等

（平成27年5月18日）

質 問 事 項

市長等特別職の退職金について

問：市長等特別職の退職手当について、議会の反市長派のグループが推す市長が仮に選出された場合、現行の条例を改定する考えはあるのでしょうか。また、報道で「2年前の議会の議決を審議会があまり重く受け止めていない」とありました。議会と審議会の関係は上位、下位はないと思いますが、その点についての考えは。

答：市長が誰であるかということを経由して改定することはありません。また、報酬等審議会は市長の諮問機関であり、その答申については議会において慎重に審議し、議決をしています。すべてが答申通りとは限りません。

排水対策について

問：雨水対策について、教えて欲しい。

答：環境経済委員会での回答では、平成27年度は古浜ポンプ場の排水対策に係わる基本設計を、同28年度に詳細設計を行うとのことでした。4路線について整備を進めていくが、完了までには長期間かかるとのことでした。

市民からの意見・提言

問：地区内の排水路のグレーチング下に泥が詰まっており、自分たちの手に負えないので、市に対応してもらいたい。

答：市執行部に伝えます。

問：住居周辺は下水道が整備されているが、自分のところは未整備であり、その理由が知りたい。

答：市街化調整区域であり、下水道整備対象外となります。

問：宅地開発の進展と農業従事者の減少などから、農業用水路、農道の草刈り・みぞ掃除等の維持管理が問題となっており、対応して欲しい。

答：市執行部に伝えます。

問：市に様々な要望書を提出していますが、経緯や結果の報告がありません。年度末にでも報告して欲しい。

答：報告対応について、市執行部に伝えます。

問：クリーンセンター建設にあたり、地元業者の採用はどのようになっているか。

答：詳細については分かりません。

問：学校の遊具について、使用の可否を判断できる管理責任者を市に置いて欲しい。

答：要望を市執行部に伝えます。

問：新田公民館前の市道は、ソルトアリーナへ通う中学生等も良く利用します。安全対策のために、ガードレールと防犯灯を設置して欲しい。

答：要望を市執行部へ伝えます。

問：現在、市営墓地は個人使用となっています。団体使用を認めて欲しい。

答：要望を市執行部に伝えます。

問：災害用品の備蓄品状況を教えて欲しい。

答：市内小学校等に備蓄倉庫を配備しており、食料や防災用品など50品目以上の備蓄品を備えています。

問：海拔表示箇所は。

答：海拔表示については、指定避難所や公共施設に表示しています。避難経路としての役割を果たすために、電柱等への表示、また、理解しやすい説明表示を市執行部に要望しています。

問：避難所のトイレ整備を要望したい。

答：災害時に高齢者や身障者等が利用しやすいトイレの整備を市執行部に要望しています。ご要望を伝えます。

問：地区避難所についての名称はわかりにくいので、市に救護場所・連絡場所・まちあい場所等と改名を提案したが、返答がありません。

答：市執行部に伝えます。

問：地区内の独居老人が室内で倒れていた事案がありました。対策として人感センサー等の設置を考えて欲しい。

答：現在、一人暮らしの高齢者等が心身の状態の急変時や災害時に、簡単な操作により、あらかじめ設定した連絡先に通報する緊急通報装置を貸与しています。

これは緊急時にだけ通報できるものであるため、今後は、緊急時の通報だけでなく、気軽に通報して各種相談をすることができ、また安否確認も可能なセンター方式のシステムの導入について検討しておりますので、御理解をお願いします。

問：新田公民館前の市道は、ソルトアリーナに通う中学生も通ります。安全対策のために、ガードレールと防犯灯を設置して欲しい。

答：貴重なご意見であり、市執行部へ伝えます。

問：災害時に、障害者と確認できるベストを作成して欲しい。

答：市執行部へ伝えます。

問：見まわり隊のベストが不足、古くなっており、新しく支給して欲しい。

答：市執行部に伝えます。

問：学校に配備されているAEDを屋外に設置して欲しい。

答：屋外設置をしていくということで予算が計上されています。

問：民生委員を務めていますが、独居老人が救急車で搬送された際、同乗することがあります。しかし、病院からの帰宅はタクシーで費用がかかり、対策を考えて欲しい。

答：地域包括支援センターで対応しています。

問：大雨の際、桑山、華浦地区から雨水が新田地区に流れ込み、ひどいときにはグレーチングから吹き上がる場所があります。排水ポンプの稼働が遅いのでは。

答：市執行部に伝えます。

市民からの質問、要望等

（平成27年5月20日）

質 問 事 項

市長等特別職の退職金について

問：市長等特別職の退職金についてですが、市長は以前に退職金は要らないと言って選挙に出られたと思うのですが、その辺はあやふやになっているのでしょうか。

答：現市長が退職金は要らないと言ったのは、昨年の選挙ではなく、5年前の選挙の時に、「議員定数を半分にしたら、退職金はゼロでいい、毎月の給与は半分がいい」と言われました。当選直後の平成22年6月に「議員定数半減」と「退職金ゼロ、給与半減」の議案を出されましたが、否決され、平成24年6月議会で「議員定数を27から25に減らす」議案と合わせて市長等の退職金を国の大臣等と同じような計算式にするという改正案が議員提案で決められ、それが現行の退職金になっています。

その後、市長は、大幅な退職金の引き下げが適切かを報酬等審議会に諮問し、「議会が下げたのは下げすぎだが、今までよりは下げなさい」という答申が出て、市長は答申に基づく改正案を平成25年3月に出されましたが、議会は改正案を否決しました。今回は、市長の新しい任期になるので、再度諮問し、同様な答申が出され、市長はこの3月議会で再度改正案を出しましたが、議会は再度否決しました。

5年前の選挙では、議員半減と退職金ゼロをセットで言われ、「議員半減にならなかつたら、退職金はゼロにしない」とその後に言われました。

総合交通体系について

問：切畑デマンドタクシーの利用料金（1乗車200円）だが、障害者は補助があるのでしょうか。

答：障害者及び小学生は半額となっています。

問：切畑デマンドタクシーは切畑からJR大道駅までという事だが、大道駅から交通手段はどうなっているのでしょうか。そこからの配慮が必要ではないかと思えます。周辺部は、過疎化が進んでいますが、今後デマンドタクシーを市内全域に広げて行くのでしょうか。

答：JR大道駅からは、路線バスやJRを利用するとなっています。JR大道駅は、改札口へはエレベーターの利用が出来ますが、電車へ乗降するためには階段しかないことなどから、高齢者の中には利用しにくいと思っている方も少なくありません。JR大道駅のバリアフリー化は、議会の中で何度も要望されています。

一方、JR大道駅周辺には、金融機関やスーパー、医院等もあり、助かっているという方もいらっしゃると思います。実証実験の段階です。今後の充実した運行形態になることを議会としても望んでいます。デマンドタクシーが市内全域に広がるのかということですが、交通不便地域それぞれに適した方式を地元のご意見をお聴きしながら、進めていくと市執行部は説明しています。

市民からの意見・提言

問：土曜授業については、市長からトップダウンで決定したと聞いております。市民の声や議会の審議で土曜授業が決まったのであれば、もっと受け入れやすく、子どもたちや教職員にも取り組みやすい形になったと思います。

土曜授業が始まったため、夜遅くまで教職員が学校に残り、子どもの方も土曜日に休んだり、スポ少に行ったり、地域の子ども会の活動とか、選んで土曜日を過ごせるのが、学校の授業に行かなくてはならなくなっていますが、これは広い意味での学力形成につながっていないと思います。学力テストに向けて、学校自体が汲々として、テストとドリルが氾濫し、そこに土曜授業が加わり、学校がますます汲々としています。

今後は、土曜活動とか土曜学習という形に変えて、地域でとか、他の仕事を持っている方がボランティア的に入っていただく、子どもも希望者で活動するなり、家で寝ている子もOKという、ゆとりのある土曜日の活かし方、活動の仕方に切り替えられないか、市議会の方で何らかの施策を検討し、教育委員会に提案してほしい。

答：ご意見を各議員に伝えます。

問：今年が中学校教科書の採択の年になっていますが、今年4月から地教行法が改正になり、首長と教育委員会の協議が始まります。教科書とか人事については、首長は教育委員会に影響力を及ぼしてはならないとなっています。4月の(衆議院の)文部科学委員会の質疑でも確認されて、文部科学省からの通知がおりていますので、市議会としても、教育委員会の政治的独立性、公平公正な立場で教科書が採択されるようみていただきたい。

答：ご意見を各議員に伝えます。

問：教科書採択について、4月の文部科学委員会で、「教科書採択の理由、採択に至った審議の議事録の公表に努めなさい」という通知を文部科学省はおろしたと言っているので、採択後に、採択の理由、議事録の公表、公開がされるよう、市議会としても教育委員会に働きかけてほしい。

答：基本的に、審議会等は非公開となることはありますが、議事録は公表されています。個人情報に係わることは、公開されませんが、どのような審議がされたかは、公表されるのが基本で、そのような形になると考えられます。

問：教育委員会でも審議して決め、議会でも審議して決めるとなると、教育委員会と議会との関係はどうなっているのか。

答：教育委員会は、教育委員会の方針・施策等を決める際には審議して決めますが、市の執行機関の1つです。他方、市議会は、執行機関から出された議案を審議し、議決する機関となります。

問：土曜授業を防府市が月1回するようになったのは、どうしてですか。今後はどうなるのですか。

答：文部科学省は、学校週5日制の原則は守りますが、教育委員会の判断で土曜日に授業をすることが可能なように、国が規則を変えました。昨年度は、学期に1回という形で、大道と小野の小中学校はモデル的に月1回の実施をしました。市教育委員会は、これについて成果があったとして、新年度に拡大をして全小中学校で実施するという形になっています。

県内で土曜授業を実施しているのは防府市だけで、議会では、土曜授業を進めることに慎重な意見と取組むべきとの両方の意見が出されていました。基本的には、教育委員会の権限の中で進められています。通常の授業ではなく、授業参観、親子で取組むもの、春の小運動会などの取組みとして土曜授業を進めています。

問：今年度予算に新規就農支援のために290万円とあるが、少ないのでは。もっとこういった分野に予算を付けるべきではないか。市は農業に対して力が入ってないのではないかと思う。

答：貴重なご意見だと思います。市執行部へ伝えます。

問：植松水系の補修は、関係農家数が少なく負担が大変大きい状況にあります。今後の対策を考えて欲しい。

答：市執行部へ伝えます。

問：今後の空家対策について教えて欲しい。

答：市は、平成24年7月に県下に先駆けて「空き家等の適正管理に関する条例」を施行し、以来、市にたくさんの空家に関する情報が寄せられるようになり、解決に向けて具体的に動いている状況です。国は、平成26年11月に「空家等対策の推進に関する特別措置法」が交付され、この5月から全面的に施行されたところです。市において、今年度4月から相談窓口も一本化され（生活安全課空家対策室）、実態調査も行われ、データベース化され、具体的な計画を策定していくこととなります。

問：道路整備についてですが、交通量が多い市道（華城小学校から以西）に、はみ出している電柱はどうにかならないかと思います。交差点の停止線も消えているところもありますが、それを引くにも時間が掛かっているので、早く対応して欲しい。通学路でもあり、大変危険ですので早い対応を要望します。

答：市執行部に伝えます。

問：消防団の資質について伺うが、他市からの入団は認められているのか。

答：他市からも入団できるようになっています。

議 会 報 告 会 (向 島 地 区)

市民からの質問、要望等

(平成27年5月21日)

質 問 事 項

地方創生について

問：プレミアム商品券について詳しく説明してほしい

答：現在ある商品券とは別に新たに発行されるもので、1万円の券が1万2000円となり2000円のプレミアムがつきます。一人5枚まで購入でき、7月1日から販売の予定です。

総合交通体系について

問：バス半額手形とは全市民対象なのでしょうか。

答：対象は市民で中学生以上が対象です。期間は昨年11月から今年10月までで、毎月第3金曜日に使うことができます。市に申し込めば発行され、1度申請すれば期間中は使用することができます。

問：バス半額手形のPRだが、市広報はなかなか読まないの公民館に書類を置くなど、広報するなどしてもらいたい。

答：市執行部へ伝えます。

排水対策について

問：雨水貯留浸透施設設置に対する補助対象地域が拡大しましたが、急傾斜地、地滑り崩壊区域等、危険区域は除かれるということを聞いています。向島ほどの位の地域が対象になるのか教えて下さい。

答：市から地区において説明を行うと聞いています。

市民からの意見・提言

問：桜の季節には、道路に多くの車が駐車されている状況です。向島運動公園に臨時駐車場を作ってもらいたい。グラウンド等を臨時に開放してもらえないでしょうか。

答：市執行部に伝えます。

問：向島小学校前から小田までの県道の両側の雑草・土砂を取り除いてほしい。

答：市執行部に伝えます。

問：向島保育園から、旧「海鮮」までの歩道に、いぶきがはみ出しているのので、歩道が半分しか通行できません。テニス場へ行く中学生の自転車通行時に危険です。県と9月までに撤去するとの約束になっているのですが。

答：9月までの推移を見守りたいと思います。

問：本村地区は空家が多い状況、雑草が繁茂し子どもの登下校に影響が出ています。これらのことへの対応を教えてください。

答：空き家については、条例制定後、空家情報が市に多く寄せられるようになってきました。27年4月1日より市の窓口も一本化されています。国も空き家対策の法律を制定し、税制上の優遇措置も廃止され、行政代執行も行えるようになります。具体的な情報を窓口伝えていただければ、市も適正な管理を進めていくことと思います。

問：防犯灯についてですが、県道（小学校から運動公園、テニスコートまで）に地区で2基つけています。それでは充分ではなく、県に設置要望していますが、県は設置しないといています。テニスの試合に行く市内5中学校からも要望が出ており、市の対応を教えてください。

答：防犯灯の設置は、現在それぞれの自治会において設置、維持管理を行っていただいております。

この防犯灯は、市民の安全な暮らしに欠かせないものであることから、設置費用や電気料金の一部を自治会に助成する制度を設けております。

御要望の箇所への防犯灯の設置につきましては、該当する自治会においてこの助成制度を活用され、設置・維持管理を行っていただくこととなりますので、御理解のほどよろしくお願い申し上げます。

質 問 事 項

山頭火ふるさと館の整備について

問：山頭火ふるさと館の建設については、再検討されることをお願いします。関係住民の無視。文化庁からの注意等、市長の独断で政策の事業は許されない。地方自治の原理をわきまえ、なれ合わず地道に事を裁く手際と良識を持って、山頭火ふるさと館の再検討されることをお願いします。

答：山頭火ふるさと館については協議会で検討しています。このことは、市執行部に伝えます。

問：山頭火ふるさと館について、決まったものを地元で説明しています。市民の意見を聞いていません。土地代も2倍です。兄部家との関係で、2階以上は建てられないことは当初から判っていたのではないのでしょうか。議員からの指摘もあつたはずですが。計画が二転三転しており、良かった点は資料が集まったことだけ。検討協議会は検討し、金額は判っているのでしょうか。文化財郷土資料館は2千800万円かけたが整理がなされていない状況。

答：金額については、検討協議会で検討しています。要望については協議会で取り上げていきます。再検討のご意見は承知しています。土地の買収価格については、市で鑑定評価しています。

問：山頭火ふるさと館に関して兄部家を整備するとなっておりますが、いつごろになるのか聞きたい。

答：5月13日に文化財課から初めて宮市兄部家保存整備事業の説明がありました。文化庁と協議しながら進めるとのことでした。基本構想の予算は認められているので、どうするかは今からの事です。建設ありきなのかという質問がありますが、建設ありきではなく、決定ではありません。平成33年という計画は出ていますが、本年度は基本構想について取り組んで行く予定です。

市長等特別職の退職金について

問：審議会の存在に無力感を感じるという意見があるがいかがか。給料をあげるという意見があるが、市長の給料は山口市のほうが低い。

総合計画の見直しについて

問：コンパクトシティ構想について、市街化調整区域に家を建てるのは止めて欲しい。中心部が空洞するのはおかしい。本来の土地計画に戻して欲しい。

答：市執行部に伝えます。

総合交通体系について

問：交通不便地域は防府市全体です。自治会連合会ではコミュニティバスを運行して欲しいと要請しています。

答：観光については新たに、5／9より定期観光バスが始まります。交通不便地域の解消については、総合交通体系特別委員会で協議をしています。

庁舎建設について

問：今年度から基本構想があるとなっていますが、執行部の計画と思うが、市議会の特別委員会とのリンクはどうなっているのでしょうか。市議会の庁舎建設委員会の役割はどうなっていますか。

答：執行部が進めていく方向、意見を聞く基本計画検討委員会、議会で構成する検討委員会があります。市民から議員にいろいろな意見が上がってきています。議員は市民の代表として、市民の意見をしっかりと委員会で出して総合的にまとめ上げていきます。

問：懇話会とは別に市議会の中で調査研究をするということでしょうか。

答：そうです。懇話会の意見と同じ中身を議会の中でも行います。最終的には議決案件です。建設様式、方法、場所、規模を一から組み上げて、懇話会の意見も参考に総合的にまとめ上げていきます。

問：執行部が検討委員会を開催し、議会に上程し、議会が行うのではないのか。並行して行うのか。

答：そうです。特別委員会では採決をしません。並行して行うようになります。

排水対策について

問：松崎にも、高砂地区のように排水の悪い場所があります。

答：議会で、市全体について審議していきます。

市民からの意見・提言

問：兄部家は建物を作り直すようになると思うが。建物は指定がなかった様に思いますが、土地が史跡になっているように思うが、松崎地区の者は建物がなくなっても寂しいと思う人はいない。無駄だと思えます。

答：建設すると決まったわけではなく、これから議会で審議していきます。

問：観光行政について

防府市の一年間宿泊者数は、6万4千人で他市との格差が大きい。せめて、20万人位一年間宿泊客があるような市政を望む行政をして欲しい。【山口市77万人、下関市74万人、長門市51万人、萩市46万人、岩国市23万人、(財)山口経済研究所資料、2012年の概数】

答：観光行政については、6万4千人で他市との差が大きくなっています。20万人位の観光客を望むとのことですが、他市に比べ防府が著しく少ないのが現状です。ホテルの問題などがありますが、交流人口を増やし、滞留型の観光客を増やさなければいけないので、市執行部へ伝えます。

問：学校運営費について消費税が3%上がっても予算が一緒はおかしいとのことを要望しておきます。

問：花燃ゆバスは止めることを要望しておきます。

質 問 事 項

問：丸山遊歩道の設置について

16年前の台風で、丸山遊歩道が崩れてなくなった。丸山周辺は、天然の釣り場、ここで魚釣りができれば多くの釣り人が島に来ます。

この丸山周囲に遊歩道を整備すれば散策もでき、釣り場へのアクセス道路にもなり、広く活用できるものと思います。

丸山遊歩道を整備し豊かな海を活用して、たくさんの釣り人を招きたい。定期船運航にも大きな活力になる。

答：丸山周辺の通路については担当で現地を確認しましたが、通路としては痕跡も見つからない状況に加えて危険な箇所も多数あり、これを補修することは不可能であると判断いたしました。

また、丸山遊歩道の整備については、平成11年に計画をされた経緯がございませが、事業完了後に利用者も少ないなど費用対効果が見込めない理由で事業化に至っておりません。

今回の御質問については、前に述べたとおり、整備する環境が以前より更に悪化した状況であり、事業化することは困難であると考えております。

問：野島小・中学校の存続について

学校存続は、島の活性、島の活性は学校の存続にある。渡船通学制度のある茜島シーサイドスクール立ち上げて15年、小・中学校があるため島には大きな力となっている。また、島の特色ある教育がなされ、島民も島外の人々も島の学校に魅力を感じている。また、島の学校は、島の意志にて存続し、島民全員が賛助会員になり会費をもって学校運営に大きな力を注いでいる。学校の存続についてよろしくお願ひしたい。

答：小・中学校については存続していくと聞いておりますので、市執行部に伝えます。

問：ナゴヤふぐの取扱について

ナゴヤふぐには、身に毒があると言って県条例で販売禁止されている。毎年12月から翌年3月頃まで月によってはたくさん取れる。岡山県では売っており販売されている県もある。山口県も売れるようにしてもらいたい。莫大な損失、島民は現代も食べ続けている。毒があるなら島のみんなは死んでいる。考えてもらいたい。

答：県の所管となりますが、市執行部に伝えます。

問：野島へのデイサービス設置について

3年前に高齢福祉課からデイサービスを作るという意見をいただいた。デイサービスをやるということは医者があるということ。大津島がデイサービスをやっているということだった。是非、野島にもデイサービスを作って欲しい。

答：現在、週2回、医師が野島診療所へ出張して診療に当たっており、また、医師とは別の日に週1回、市の保健師が健康相談を実施しています。

デイサービスの御要望ですが、現在行っています健康相談の場を、介護予防の体操や健康講話などを行うミニデイサービスのような集いの場としたいと考えておりますので、御理解くださるようお願いいたします。

問：定期船運賃助成の強化

常勤診療なし、週2回の内科医師の診療では島民の健康は維持できない。高齢者の多い島では先行き不安である。自分の命を守るためには、定期船を利用する回数を増やす。少しの年金受給者には、定期船運賃が大きな負担となっているのが現状である。現在の離島振興の現状を踏まえ、定期船運賃を現在の半額にしてくださるようよろしく申し上げます。

答：有限会社野島海運が運行する野島・三田尻航路は、島の唯一の公共交通機関として、島民の皆様が本土との行き来や、生活必需品などの物資の輸送等で日々御利用いただき、島民の皆様が日常生活を送る上で非常に重要な役割を担っております。

野島航路の維持のため、運営面はさまざまな経費の削減、節減に努め、経営改善を行っておりますが、近年の燃料費の高止まりや、乗船客数の減少等により、依然として厳しい経営状況にあり、毎年発生する欠損金に対し、国・県・市の離島航路補助金で全額補填し、航路運行を維持しているところです。

このような経営状況の中で、事業者自身が運賃を引き下げることが、経営に大きな影響があり、加えて、補助金の算定にも影響があります。また、定期船の運賃を半額にするためには、国の運賃改定の認可を受ける必要がありますが、赤字の大きい現在の経営状態では認可を受けることは難しいものと判断しております。

しかしながら、島民の皆様の運賃負担の軽減についての御要望に対する切実な状況は十分把握しておりますので、片道運賃相当額が無料となる航路利用券の交付事業による更なる運賃の助成について検討してまいりたいと存じます。

問：高齢者による草刈りなどが大変なことについて

急傾斜対策防護壁や道などに雑草や木がたくさん生えている。年3回は、みんなで草刈りを行っているが、80才を超えて作業がなかなかできなくなっている。山の危険なところの木を切ってくれるようなボランティア等の支援やそのような制度を利用させていただきたい。

答：急傾斜対策防護壁における維持管理については、施工主体の市（河川港湾課）または県で行うようになります。法定外公共物であります道における草刈り等については、利用される地元での管理を原則としておりますのでよろしくお願いいたします。

ボランティアの支援は、市にはボランティア等の制度がございません。民有林における伐採等への助成等の支援も現在はございません。今後、有用な情報がありましたら、提供してまいりますので御理解をお願いします。

なお、電動草刈機の替え刃、燃料につきましては原材料支給の制度を設けておりますので、御相談ください。

問：買い物支援について

買い物するについても、バスに重たい荷物を持って乗るのはとても大変であるので、支援をして欲しい。

答：買い物支援の一つとして移動販売という方法が考えられます。現在、中山間地域での移動販売を計画しておられる事業者がおられますので、野島での移動販売につきまして、地区の意向を確認しながら、島民の皆様や事業者との協議を進めて参りたいと存じます。

市民からの質問、要望等

（平成27年5月22日）

質 問 事 項

問：女山付近の川田川河川改修工事でできた空き地について、除草及び道を拓げるためのガードレール移設をして欲しいとの要望をしたが、荷重を護岸に受けるともたないのでガードレールの移設が難しいのは判ります。しかし、空き地については草が生えるので舗装して欲しいと要望したが、アスファルトの重量で擁壁が傾くという理由で断られました。高齢化しており、工事で官地を作ったあと、後の草刈りなどの管理については住民がなんとかしなさいというのはおかしいと思います。

答：該当箇所については、基地障害防止対策事業防府北地区として県営事業を実施しているところです。全線工事が完了した時点で、山口県から防府市へ財産譲渡を受けることとなりますが、現在も工事が進行中であり山口県が維持管理を行っておりますので、引き続き山口県へ該当箇所の改修を依頼いたします。

庁舎建設について

問：立ち上げが遅いのではないですか。基本構想は前倒しで出来たのではないのですか。

答：山口県は地震が少ないということがあり、東日本大震災以降、学校を優先しました。耐震診断を済ませ、庁舎建設については目標を30億円として計画的に積み立ててきています。順次計画を進め、着工は平成31年度を目指しています。約90億円かかりますが、場所についてはまちづくり総合計画の中に組み込み議論していくようになります。

問：小茅樋門を管理しています。入川流域は海拔+3m小茅樋門閉鎖だと+5m～6mの高さになります。瀬戸内海津波の最大が5mと云われています。樋門管理は大事なので管理者を6名に増やしました。市の防災担当者が樋門に来る体制はとれませんか。津波の時に、樋門に市の担当者が来て貰いたいと要望します。

答：市内に樋門は数多くあり、防災の時には人手がありません。対応出来ない所を市が管理しています。

問：前回も要望しましたが、里木舟水路が雨期になると氾濫します。昨年も二回氾濫し、勾配が少ないので蚊が湧くことが多いのです。去年は写真付きで要望を出しましたが、雨期の氾濫に対する回答がありません。考慮して欲しいと要望します。

答：西浦公民館裏側の通りのことについては、市執行部に再度伝えます。